



取扱説明書

DXZ385USB

**USBスロット搭載
CD/MP3/WMA/AACレシーバー**

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

目次

はじめに

主な特長	5
ご使用の前に	6
安全に正しくお使いいただくために	6
安全上のご注意	7
取扱上のご注意	9
ご確認事項	9
本体のお手入れについて	9
ディスプレイについて	10
表示画面について	10
エラー表示について	10
DCP部の取り扱いについて	10
CDの再生について	10
CDについて	10

本機の操作

■各部の名称とはたらき

本体部	12
モード別ディスプレイ表示	14
(別販) リモコン(RCB176)の使いかた	16

■基本の操作

DCPの取り外しかた	18
DCPの取り付けかた	18
電源を入れる	19
ソースを選ぶ	19
音量を調節する	19
時刻を合わせる	19
表示を切り換える	20
重低音を増強する(マグナベースEX機能)	21
音質を簡単に設定する(Z-エンハンサープラス機能)	21
Z-エンハンサー量を調整する	21
カスタムの設定値を初期値に戻す	22
音質を調整する(バス/トレブル)	22
左右のスピーカー音量を調整する	23
前後のスピーカー音量を調整する	23
サブウーファースのローパスフィルターを設定する	23
サブウーファー音量を調整する	23
ハイパスフィルターを設定する(HPF)	23

■ラジオを聴く

ラジオを選ぶ	24
受信バンドを切り換える	24
自動選局する(シーク選局)	24
手動選局する(マニュアル選局)	24
プリセット選局する	25
プリセットメモリーする	25
自動メモリーする(オートストア機能)	25
放送を確かめる(プリセットスキャン)	26
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)	26

■CD/MP3/WMA/AACを聴く

MP3/WMA/AACについて	27
ディスクを入れる	28
ディスクを取り出す	28
すでに入っているディスクを聴く	29
最初の曲から聴く(トップ機能)	29
再生を止める(一時停止)	29
曲を選ぶ	29
早送り/早戻しする	29
フォルダを切り換える(フォルダ選択モード)	30
再生するファイルタイプを選択する(マルチセッション機能)	30
いろいろな再生(スキャン/リピート/ランダム演奏)	31

■タイトルをつける

タイトルを入力する	32
タイトルを削除する	33

■設定を変更する(アジャストモード)

設定項目の選びかた	34
設定状況を確認する(SETTINGS)	35
スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)	35
メッセージを入力する(MSG INP)	35
タイトルスクロールを設定する(SCROLL)	36
ディスプレイ照明を設定する(DIMMER)	36
内蔵アンプを設定する(A-CANCEL)	36
携帯電話のスピーカー出力を設定する(TEL-SP)	37
携帯電話音声の割り込みを設定する(TEL-SW)	37
システムをチェックする(S-CHECK)	37

外部機器の操作

■USB機器のオーディオファイルを聴く

USB機器について	38
USBデジタルメディアストリーミングについて	38
USB機器を接続する	39
USB機器のオーディオファイルを聴く	39
再生を終了するには	39

■iPodを操作する

iPodを接続する	40
iPodを選ぶ	40
いろいろな再生(プレイモード時)	40
iPodメニューからカテゴリーを選ぶ	41
タイトル表示について	41

■ポータブルオーディオ/携帯電話音声を聴く(AUX)

AUXを選ぶ	42
AUX入力の接続のしかた	42
ポータブルオーディオの入力レベルを設定する(AUX SENS)	43

■CDチェンジャーを操作する

チェンジャーを選ぶ	44
聴きたいディスクを選ぶ	44
いろいろな再生(ディスクスキャン/ディスクリピート/ ディスクランダム演奏)	45

■MDデッキでグループ編集MDを聴く

MDデッキを選ぶ	46
グループ機能をON/OFFする	46
グループ編集MDを再生する	46
グループを切り換える	47
いろいろな再生(グループスキャン/グループリピート/ グループランダム演奏)	47

■テレビを見る

TVを選ぶ	48
受信バンドを切り換える	48
TVモードとVTRモードの切換(TV/VTR)	49
TV受信時のステレオ/モノラル音声の設定(ST/MONO)	49
TVダイバーシティを設定する(DIVER)	49
TV受信時の主音声/副音声を設定する(MAIN/SUB)	49

■システムアップについて

CeNETケーブルについて	50
---------------------	----

その他

故障かな?と思ったら	51
エラー表示について	53
仕 様	54
WMDRM10について	55
アフターサービスについて	巻末



■USBスロット搭載

- ・さまざまな周辺機器が接続可能なUSBスロットを搭載

■iPod® USB接続対応

- ・iPodをUSB接続することでiPodの直接コントロールが可能
- ※iPodを本機と接続する場合、iPodに付属されているiPodケーブルをご使用ください。
- ・本機でコントロール可能なiPod機器に関しては、お近くのクラリオン販売店にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。
- ※iPodおよびiTunesは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。iPodは米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。

■USBデジタルメディアストリーミング対応

- ・MTP(Media Transfer Protocol)と呼ばれるプロトコルで音楽ファイルを伝送し、本機でWMDRM 10ファイル再生が可能です。
- ※USBデジタルメディアストリーミングには、対応したポータブルオーディオプレーヤーが必要です。

■MP3/WMA/AACファイル再生機能

- ・CD-R/RWやマストレージクラスのUSB機器に記録したMP3/WMA/AACフォーマットのファイルが再生可能
- ・ISO9660レベル1,2、Joliet、Romeo、Apple ISOに対応

■外部入力機能(AUX入力)

- ・ポータブルオーディオなどが接続できる便利な前面AUX入力端子を装備
- ・Bluetooth®トランシーバー(BLT370)との組み合わせにより、ハンズフリー通話やオーディオストリーミングが可能
- ※Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有物であり、クラリオン(株)は許可を受けて使用しています。

■eNET (Clarion Entertainment Network : シーイーネット) 結線対応

- ・CDチェンジャーコントロール機能
- ・TVチューナーコントロール機能
- ・MDデッキコントロール機能

■タイトル表示・入力機能

■50W×4chハイパワーアンプ内蔵

■Z-エンハンサープラス機能

■ハイパスフィルター/ローパスフィルター機能

■盗難防止としてのDCP機能

■6ch RCA音声出力端子

■別版のリモートコントローラー対応

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この『取扱説明書』の表示では、製品を安全に正しくご使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

- 安全のため、ご使用前に『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

■使用上のご注意

⚠ 警 告

- 運転者は走行中に操作をしない…
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機を分解したり、改造しない…
事故や火災、感電の原因となります。
- ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
- ディスク挿入口や機器内部に水や異物を入れない…
火災や感電の原因となります。

⚠ 警 告

- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する…
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。本機のヒューズ容量については、本機に同梱されている『取付説明書』をご覧ください。

注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…



車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

- ディスク挿入口に手や指を入れない…



けがの原因となることがあります。

- 本機を車載用以外には使用しない…



感電やけがの原因となることがあります。

- 電源を切るときは、音量を最小にする…



電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

- 音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しない…



火災の原因となることがあります。

- 本機の取付場所変更は、安全のため必ずお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…



専門技術と経験が必要です。

取扱上のご注意

ご確認事項

-   マークのついたCDをご使用

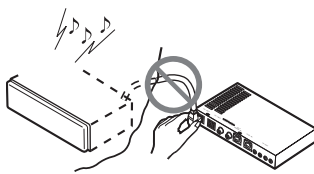
用ください。

また、シースルーディスク(半透明CD)、ハート形や八角形など、特殊形状のCDはご使用しないでください。

- CD-R/RWで記録されたディスクでもご使用できない場合があります。
- CD-ROM、8cmCDは、本機ではご使用できません。
- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておく、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。
- 本機はUSB 1.1/2.0互換で、MP3/WMA/AACフォーマットのファイルが再生できます。
- 本機のUSBスロットに接続をして再生できるUSB機器は、「USBマストレージクラス」として認識されることが条件となりますが、すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。
- 2つ以上のドライブで構成されているUSB機器は、どちらか一方のドライブのみを認識します。
- セキュリティー機能の付いたUSB機器は再生できません。
- 使用するUSB機器が「USBマストレージクラス」に準拠しているかは、販売メーカーにお問い合わせください。また、USB機器に関する取扱上のご注意などについては、「USB機器のオーディオファイルを聴く」(38ページ)をご覧ください。
- 本機は次の条件で作成されたAACファイルを再生します。

- …iTunesでエンコードされたAACファイル
- …iTunesのバージョンはVer.7.0以前
- …ファイル拡張子は、「.m4a」(「.M4A」)

- iTunes Music storeで購入した楽曲や著作権保護されたファイルは再生できません。
- AACファイルをエンコードしたiTuneのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 本体および本体に接続されている外部機器を取り付けまたは取り外すときは電源をOFFにして行ってください。システム作動中に行うと、故障の原因となります。



- CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下(CeNET分岐ケーブルCCA-519含む)です。配線長が20mを越えると動作不良の原因となります。

本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布に付けて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



- ・樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障することがあります。
- ・自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

ディスプレイについて

- 本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。
- 直射日光などの関係により、製品に光が反射する恐れがあります。運転の際は十分ご注意ください。

表示画面について

- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

- 本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」の項目(53ページ)を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

DCP部の取り扱いについて

- DCP部は精密部品となりますので、DCPを落としたりして、衝撃を与えないでください。また、絶対に水をつけないでください。
- DCP部が汚れたときには、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

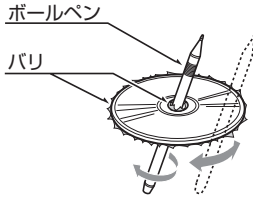
CDの再生について

- 本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。
- CDを再生中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。
- CDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

CDについて

■取扱上のご注意

- CD-R,CD-RWは、通常の音楽CDに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。
- 各種コピーコントロールCDは、CD規格に合致しない特殊ディスクであり、弊社としてはCD再生機器における再生保証は致しかねます。万一、このような特殊ディスクの再生に支障がある場合には、CDの発売元にお問い合わせください。
- 記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れなどを付けないように扱ってください。
- レーベル面(印刷面)や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレーヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

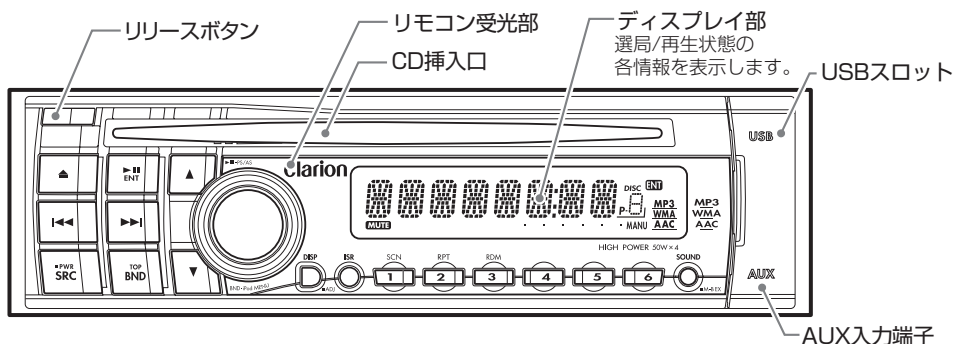
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

- 汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
- 従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

各部の名称とはたらき

本体部



[RELEASE]リリースボタン

- DCPを取り外すときに使用します。



[▲]イジェクトボタン

- CDが入っているときに押すと、CDがイジェクトされます。



[◀◀],[▶▶]サーチボタン

- ラジオ/TVモード時の選局に使います。
- ディスク、USB機器、iPod、MDデッキ、CDチェンジャー使用時は選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。



[PWR SRC]ソースボタン

- 電源を入れ、各モードに切り換えます。
- 電源を切るときは押し続けます。(約1秒間)



[▶||ENT]プレイ/ポーズボタン

- ラジオ/TVモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。
- ディスク、USB機器、iPod、MDデッキ、CDチェンジャー使用時は、再生の一時停止をします。



[BND]バンドボタン

- ラジオモード時は、バンドを切り換えます。また、押し続け(約1秒間)て、自動選局が手動選局に切り換えます。
- ディスク、USB機器、iPod、MDデッキ、CDチェンジャー使用時は、最初の曲を再生します。(トップ機能)
- グループ編集MD再生時は、押し続け(約1秒間)るとグループ機能をON/OFFします。



[▲],[▼]アップダウンボタン

- MP3/WMA/AACディスク再生時に、フォルダを切り換えます。
- グループ編集MD再生時、グループを切り換えます。



[VOLUME]ボリュームノブ

- 音量を調節します。



[DISP]ディスプレイボタン

- ディスプレイ表示を切り換えます。
- 押し続け(約1秒間)て、調整モードになります。(アジャストモード)



[ISR] ISRボタン

- 現在のモードにかかわらず、よく聴くラジオ局をすぐに呼び出します。(ISR機能)
- 押し続け(約2秒間)て、ISRにメモリーします。

1 [SCN]スキャンボタン

- CD/MP3/WMA/AACモード時に、約10秒間ずつスキャン演奏をします。
- MP3/WMA/AACディスク再生時に押し続け（約1秒間）て、オールスキャン演奏をします。

2 [RPT]リピートボタン

- CD/MP3/WMA/AACモード時に、繰り返し再生をします。
- MP3/WMA/AACディスク再生時に押し続け（約1秒間）て、オールリピート演奏をします。

3 [RDM]ランダムボタン

- CD/MP3/WMA/AACモード時に、ランダム演奏をします。
- MP3/WMA/AACディスク再生時に押し続け（約1秒間）て、オールランダム演奏をします。

1 - **6** [DIRECT]ダイレクトボタン

- ラジオモード時に、登録した放送局を呼び出します。押し続け（約2秒間）て、ダイレクトボタンに放送局をメモリーします。

○ [SOUND]サウンドボタン

- オーディオの各種調整をします。（サウンドモード）
- 約1秒間押し続けると重低音をON/OFFします。（マグナベースEX機能）

モード別ディスプレイ表示

■各モード共通の表示

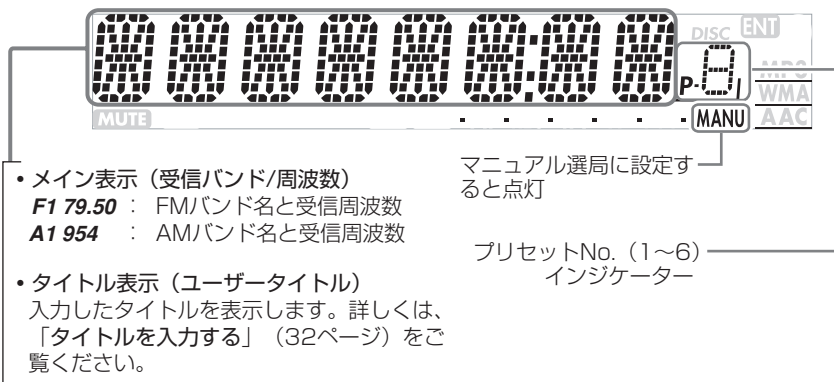


タイトル表示部

- モード表示 (モード切替時に約2秒間表示します。)
- メイン/タイトル表示
受信中の周波数やMP3/WMA/AACディスプレイのタイトルなどを表示します。
詳しくは、各モードの表示をご覧ください。
- スクリーンセーバー
スクリーンセーバーを表示します。
詳しくは、「スクリーンセーバーを設定する (SCRN SVR)」 (35ページ) をご覧ください。
- 機能表示 (設定時に約2秒間表示します。)
- M-B EX : マグナベースEX機能ON時に表示
- M-B OFF : マグナベースEX機能OFF時に表示

TUNER : ラジオモード
CD/MP3 : CD/MP3/WMA/AACモード
USB : USB/MTP/iPodモード
MD : MDデッキ
CDC : CDチェンジャー
TV : TV
AUX : AUXモード

■ラジオ/TVモード時の表示



- メイン表示 (受信バンド/周波数)
F1 79.50 : FMバンド名と受信周波数
A1 954 : AMバンド名と受信周波数
- タイトル表示 (ユーザータイトル)
 入力したタイトルを表示します。詳しくは、「タイトルを入力する」 (32ページ) をご覧ください。

■CD/MP3モード、USBモード、MDデッキ/CDチェンジャーモード時の表示

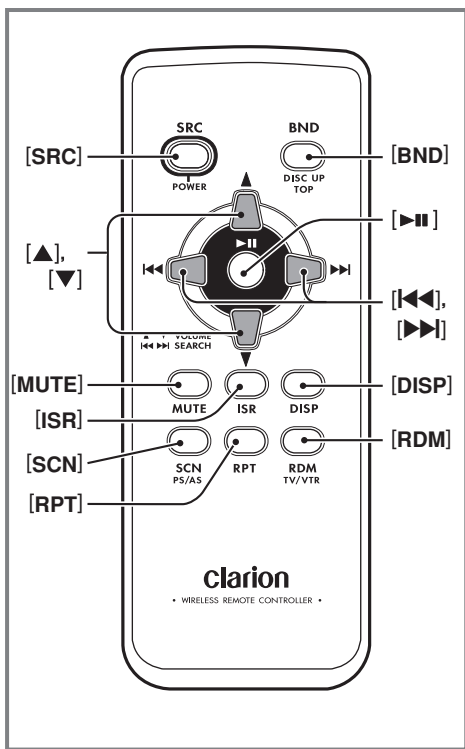
チェンジャー再生時の
ディスクNo.

- **メイン表示**
 (音楽CD再生時)
 トラック番号/再生時間表示 (分、秒)
 (MP3/WMA/AACディスク再生時)
 トラック番号/再生時間表示 (分、秒)
 フォルダ番号/再生時間表示 (分、秒)
- **タイトル表示**
 (音楽CD再生時)
 ユーザータイトル/トラックタイトル/ディスクタイトル/アーティストタイトル
 (MP3/WMA/AACディスク再生時)
 トラックタイトル/フォルダタイトル/タイトルTAG/アルバムTAG/アーティストTAG
- **選曲切換時に表示(約2秒間)**
 (音楽CD再生時)

SCAN : スキャン演奏選択時 SCN OFF : スキャン演奏キャンセル時 REPEAT : リピート演奏選択時 RPT OFF : リピート演奏キャンセル時 RANDOM : ランダム演奏選択時 RDM OFF : ランダム演奏キャンセル時	MP3 : MP3再生時点灯 WMA : WMA再生時点灯 AAC : AAC再生時点灯
--	---
- (MP3/WMA/AACディスク再生時)

SCAN : スキャン演奏選択時 SCN OFF : スキャン演奏キャンセル時 REPEAT : リピート演奏選択時 RPT OFF : リピート演奏キャンセル時 RANDOM : ランダム演奏選択時 RDM OFF : ランダム演奏キャンセル時 ALL SCAN : オールスキャン演奏選択時 SCN OFF : オールスキャン演奏キャンセル時 ALL RPT : オールリピート演奏選択時 RPT OFF : オールリピート演奏キャンセル時 ALL RDM : オールランダム演奏選択時 RDM OFF : オールランダム演奏キャンセル時	(USB/MTP/iPod/MDデッキ/CDチェンジャー再生時) SCAN : スキャン演奏選択時 (iPodモード対応なし) SCN OFF : スキャン演奏キャンセル時 REPEAT : リピート演奏選択時 RPT OFF : リピート演奏キャンセル時 RANDOM : ランダム演奏選択時 RDM OFF : ランダム演奏キャンセル時 ALL SCAN : オールスキャン演奏選択時 (iPodモード対応なし) SCN OFF : スキャン演奏キャンセル時 ALL RPT : オールリピート演奏選択時 (iPodモード対応なし) RPT OFF : オールリピート演奏キャンセル時 ALL RDM : オールランダム演奏選択時 RDM OFF : オールランダム演奏キャンセル時
--	---
- **マルチセッション機能選択時に約2秒間表示**
M-SESS CD : CD再生時
M-SESS MP3 : MP3/WMA/AAC再生時
- **その他の表示**
NO DISC : ディスクがないとき
ERROR 2 : エラー発生時
FILE READ : ファイルシステム読み込み中
PAUSE : 再生一時停止時
D-CHECK : ディスク診断中

(別販)リモコン(RCB176)の使いかた



ソースを選ぶ

[SRC] ボタン

- 電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。
- 約1秒間押し続けると、電源が切れます。

音量を調節する

[▲], [▼] ボタン

音を消す

[MUTE] ボタン

- ミュート(消音)機能をON/OFFします。

ISRメモリーを呼び出す

[ISR] ボタン

- モードにかかわらず、登録されているラジオ局を呼び出します。
- ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ラジオで**[ISR]**ボタンを約2秒間押し続けます。
- 元のモードに戻すには、もう一度**[ISR]**ボタンを押します。

曲を探す/放送局をプリセットする

[SCN] ボタン

- スキャン演奏します。
(CD/MP3/WMA/AAC/USB/MTP/MDデッキ/CDチェンジャー時)
- 押し続ける(約1秒間)と、オールスキャン演奏します。
(CD/MP3/WMA/AAC/USB/MTP/MDデッキ/CDチェンジャー時)
- ラジオ/TV時には、プリセットした放送局を確かめられます。(プリセットスキャン)
また、約2秒間押し続けると放送局を自動的にメモリーします。(オートストア機能)
- 解除するときには、もう一度**[SCN]**ボタンを押します。

繰り返し再生する

[RPT] ボタン

- リピート演奏します。
(CD/MP3/WMA/AAC/USB/MTP/iPod/MDデッキ/CDチェンジャー時)
- 押し続ける(約1秒間)と、オールリピート演奏します。
(CD/MP3/WMA/AAC/USB/MTP/MDデッキ/CDチェンジャー時)
- TV時にステレオ/モノラルに切り換えます。
押し続ける(約1秒間)とMAIN/SUBに切り換えます。
- 解除するときには、もう一度**[RPT]**ボタンを押します。

最初の曲から再生する/バンドを切り換える

[BND] ボタン

- 最初の曲から再生します。
(CD/MP3/WMA/AAC/USB/MTP時)
- ラジオ/TV時は受信バンドを切り換えます。

再生を一時停止する

[▶||] ボタン

- 再生を一時停止します。
(CD/MP3/WMA/AAC/USB/MTP/iPod/
MD デッキ /CD チェンジャー時)

選曲する/選局する

[◀◀], [▶▶] ボタン

- 押した回数だけ先の曲、または前の曲を再生します。
約1秒間押し続けると、早送り/早戻しをします。
(CD/MP3/WMA/AAC/USB/iPod/MD
デッキ /CD チェンジャー時)
- プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。
(ラジオ /TV 時)

表示を切り換える

[DISP] ボタン

- 次のように表示を切り換えます。
メイン表示 ↔ タイトル表示 ↔ 時計表示

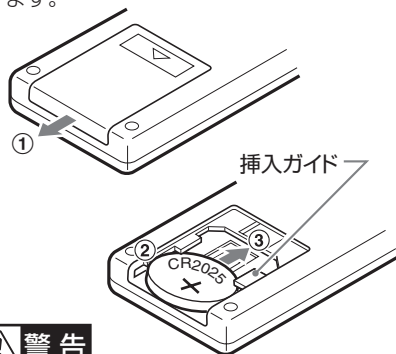
ランダム演奏する

[RDM] ボタン

- ランダム演奏します。
(CD/MP3/WMA/AAC/USB/MTP/iPod/MD
デッキ /CD チェンジャー時)
- 押し続ける (約1秒間) と、オールランダム
演奏します。
(CD/MP3/WMA/AAC/USB/MTP/iPod/MD
デッキ /CD チェンジャー時)
- TV時にTV/VTRに切り換えます。
- 解除するときは、もう一度[RDM]ボタンを押
します。

■電池の入れかた

- ① リモコンを裏返し、ふたを矢印の方向に引き出します。
- ② 電池(CR2025)の刻印面を上にして、挿入ガイド部にセットします。
- ③ セットした電池を押しながら矢印方向に挿入します。
- ④ 「カチッ」と音がするまで、ふたを押し込みます。



⚠ 警告

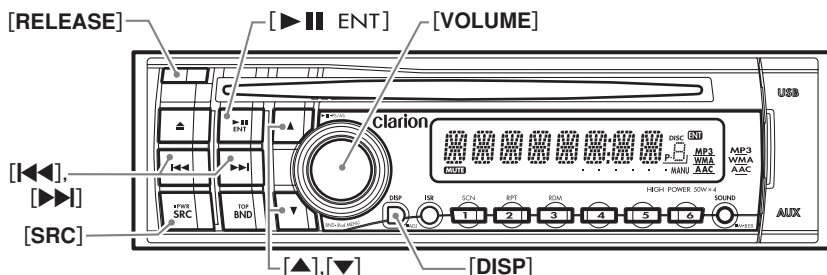
- ・リモコンを放置しないでください。
停車したときやカーブを曲がるときに、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。
- ・事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠ 注意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、けがや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

- ・指定電池以外は使用しない。
- ・電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
- ・電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。
- ・使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。
- ・リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。

基本の操作



DCPの取り外しかた

DCP (Detachable Control Panel) について…

このコントロールパネルは盗難防止用に取り外すことができます。

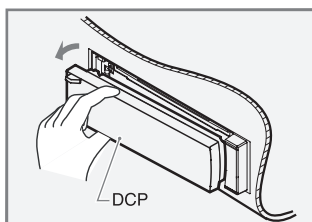
車から離れるときは、DCPをお持ちになることをお勧めします。

1 [SRC] ボタンを押し続けて(約1秒間)、電源を切る

2 [RELEASE] ボタンを深く押す

→DCPの左端が本体から外れます。

3 DCPを手前に取り出す

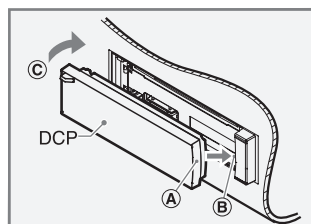


⚠ 注意

- 運転中にDCPの脱着操作をしないでください。
- DCPは衝撃に弱いです。落としたり強い衝撃を与えると故障の原因となりますので取扱には、ご注意ください。

DCPの取り付けかた

1 DCPの右側の①部を、本機のツメ②部に差し込む



2 DCPの左端③部を、カチッと音がするまで押す

⚠ 注意

- DCPがロックされていない状態で走行すると振動により落下する恐れがありますので、本機に確実に取り付けてください。
- 本機とDCPを接続しているコネクターは大変重要な部分です。爪やドライバーなどで押してキズをつけないように、注意してください。

ご注意

- DCPが汚れている場合、乾いたやわらかい布でふいてください。

電源を入れる

システムチェックについて…

本機は、結線を終えてから最初に電源を入れたときのみ接続機器の確認を行います。電源を入れるとシステムチェックを開始し、ディスプレイに「S-CHECK」を表示します。チェックを完了すると、電源「OFF」の状態になりますので、[SRC]ボタンを押してください。

1 [SRC]ボタンを押す

ご注意

- ・バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

■ 電源を切るときは…

[SRC]ボタンを押し続けてください。
(約1秒間)

ソースを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

→押すたびに、次のように切り換わります。

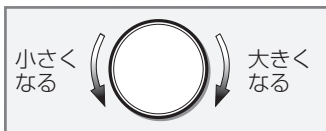
ラジオ → CD/MP3/WMA/AAC → USB/MTP/iPod
↑AUX → (TV) ← (CDチェンジャー) ← (MDデッキ) ↓

※[MTP]または[iPod]は対応機器がUSBスロットに接続されたとき、表示します。

※()内はCeNET接続された外部機器です。

音量を調節する

1 [VOLUME]ノブを回す



⚠ 注意

- ・運転中は、車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

時刻を合わせる

時計表示について…

本機は、車のエンジン作動時(ACC ON時)に時計を表示します。時計は12時間表示です。

常に時計表示するには…

スクリーンセーバー機能が「ON」のときは、時計表示はしません。時計表示に切り換えて、スクリーンセーバー機能を「OFF」に設定してください。(20、35ページ参照)

1 [DISP]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に前回「CLOCK」などを表示して、アジャストモードになります。

2 [◀◀], [▶▶]サーチボタンを押して、「CLOCK」を選ぶ

3 [▶IIENT]プレイ/ポーズボタンを押す

→調整時点「PM 2:20」などの時刻を表示し、時刻設定モードになります。

- ・時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

4 [◀◀], [▶▶]サーチボタンを押して、時または分を選ぶ

→点滅している項目が調整できます。

5 [▲], [▼]ボタンを押して、時刻を合わせる

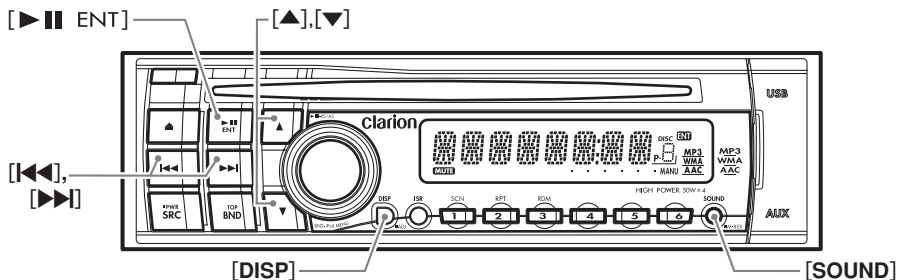
6 [▶IIENT]プレイ/ポーズボタンを押す

→時刻が設定されます。

ご注意

- ・電源OFF状態での時間表示のときは、時計を設定することはできません。
- ・点検や修理などでバッテリーを外したときには、もう一度、時刻合わせをしてください。

7 [DISP]ボタンを押して、元のモードに戻る

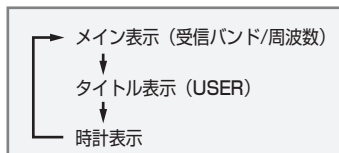


表示を切り換える

1 [DISP]ボタンを押して表示を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

●ラジオモード



詳しくは、「モード別ディスプレイ表示」(14ページ)をご覧ください。

●音楽CD再生時



●MP3/WMA/AACディスク再生時



■スクリーンセーバー機能について…

スクリーンセーバーの初期設定は「ON」です。選局/選曲操作に関連する表示を一定時間表示した後、この機能がはたります。設定については「スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)」(35ページ)をご覧ください。

■常に時計表示するには…

時計表示に切り換えて、スクリーンセーバー機能を「OFF」に設定してください。設定については「スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)」(35ページ)をご覧ください。

重低音を増強する (マグナベースEX機能)

1 [SOUND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→マグナベースEX(MAGNA BASS EX)がONになり、タイトル表示部に「**M-B EX**」を約2秒間表示して、重低音が増強されます。

■マグナベースEX機能を解除するには…

もう一度、[SOUND]ボタンを押し続けてください。タイトル表示部に「**M-B OFF**」を約2秒間表示します。

音質を簡単に設定する (Z-エンハンサープラス機能)

本機は、3つのイコライジングパターンをメモリーしてあります。お好みの音質を設定してお楽しみください。

- **B- BOOST**：低音を強調
 - **IMPACT**：低音と高音を強調
 - **EXCITE**：低音と高音をさらに強調
- ※初期設定は、「OFF」です。

■Z-エンハンサーオフについて…

原音のままお聴きになりたいときは、Z-エンハンサーを「OFF」にしてご使用ください。

■音質をきめ細かく設定したいときは…

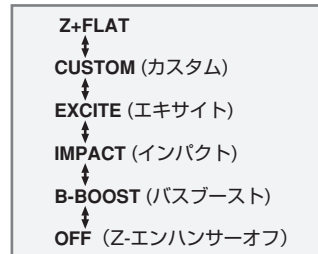
この機能を**CUSTOM**(カスタム)に設定し、「音質を調整する(バス/トレブル)」(22ページ)の手順で、お好みの音質に調整してください。

ご注意

- 10秒間操作がないときは、調整モードを解除し、元の再生状態に戻ります。

1 [SOUND]ボタンを押して、(Z-EHCR)を選ぶ

2 [▲], [▼]ボタンを押して、お好みの音質を選ぶ



3 [SOUND]ボタンを押して、元のモードに戻る

Z-エンハンサー量を調整する

ご注意

- Z-エンハンサープラス機能が**B-BOOST**(バスブースト)、**IMPACT**(インパクト)または**EXCITE**(エキサイト)のときに調整できます。
- 10秒間操作がないときは、調整モードを解除し、元の再生状態に戻ります。

1 [SOUND]ボタンを押して、(Z-EHCR)を選ぶ

2 [▲], [▼]ボタンを押して、Z-エンハンサー調整項目(**EXCITE**/**IMPACT**/**B-BOOST**)を選ぶ

3 [▶||ENT]プレイ/ポーズボタンを押す

4 [▲], [▼]ボタンを押して、調整する

- 調整範囲は、-3～+3です。

5 [SOUND]ボタンを押して、元のモードに戻る

カスタムの設定値を初期値に戻す

- 1 [SOUND]ボタンを押す
- 2 [▲],[▼]ボタンを押して、(Z+FLAT)を選ぶ
- 3 [▶IIENT]プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約1秒間)

音質を調整する (バス/トレブル)

この機能は、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。

ご注意

- この機能は、Z-エンハンサープラス機能が(CUSTOM)カスタムのときに設定できます。
- 10秒間操作がないときは、調整モードを解除し、元の再生状態に戻ります。

- 1 [SOUND]ボタンを押す
- 2 [▲],[▼]ボタンを押して、(CUSTOM)を選ぶ
- 3 [◀◀],[▶▶]サーチボタンを押して、調整項目(BASS)または(TREBLE)を選ぶ



■BASS(低音域)を選ぶとき

- 4-1 [▲],[▼]ボタンを押して、「BASS<G 0>」(ゲイン)、「BASS<F>」(周波数)または「BASS<Q>」(Qカーブ)を選ぶ

- 4-2 [▶IIENT]プレイ/ポーズボタンを押す

- 4-3 [▲],[▼]ボタンを押して、調整する

- 「BASS<F>」(ゲイン)の調整範囲は、-7~+7です。
- 「BASS<F>」周波数(F): 60Hz、80Hz、100Hz、200Hz
- 「BASS<Q>」Qカーブ(Q): 1、1.25、1.5、2

※4-1 調整項目に戻る場合は、プレイ/ポーズボタンを押してください。

■TREBLE(高音域)を選ぶとき

- 4-1 [▲],[▼]ボタンを押して、「TREB<G>」(ゲイン)または「TREB<F>」(周波数)を選ぶ

- 4-2 [▶IIENT]プレイ/ポーズボタンを押す

- 4-3 [▲],[▼]ボタンを押して、調整する

- 「TREB<G>」(ゲイン)の調整範囲は、-7~+7です。
- 「TREB<F>」周波数(F): 10kHz、12.5kHz、15kHz、17.5kHz

※4-1 調整項目に戻る場合は、プレイ/ポーズボタンを押してください。

- 5 [SOUND]ボタンを押して元のモードに戻る

左右のスピーカー音量を調整する

- 1 [SOUND]ボタンを押して、サウンド設定モードにする
- 2 [◀◀], [▶▶]サーチボタンを押して、(BALANCE)を選ぶ
- 3 [▲], [▼]ボタンを押して、左右のスピーカー(バランス)の音量を調整する
 - 調整範囲は、RIGHT 12～LEFT 12です。
 - ※初期設定は、「CENTER」です。

前後のスピーカー音量を調整する

- 1 [SOUND]ボタンを押して、サウンド設定モードにする
- 2 [◀◀], [▶▶]サーチボタンを押して、(FADER)を選ぶ
- 3 [▲], [▼]ボタンを押して、前後のスピーカー(フェダー)の音量を調整する
 - 調整範囲は、FRONT 12～REAR 12です。
 - ※初期設定は、「CENTER」です。

サブウーファースローパスフィルターを設定する

- 1 [SOUND]ボタンを押して、サウンド設定モードにする
- 2 [◀◀], [▶▶]サーチボタンを押して、(S-W LPF)を選ぶ

- 3 [▲], [▼]ボタンを押して、設定内容を選ぶ

"THROUGH" ↔ "LPF 50" ↔
 "LPF 80" ↔ "LPF 120"

※初期設定は、「THROUGH」です。

サブウーファー音量を調整する

- 1 [SOUND]ボタンを押して、サウンド設定モードにする
- 2 [◀◀], [▶▶]サーチボタンを押して、(S-W VOL)を選ぶ
- 3 [▲], [▼]ボタンを押して、調整する
 - 調整範囲は、+6～-6です。
 - ※初期設定は、「0」です。

ハイパスフィルターを設定する(HPF)

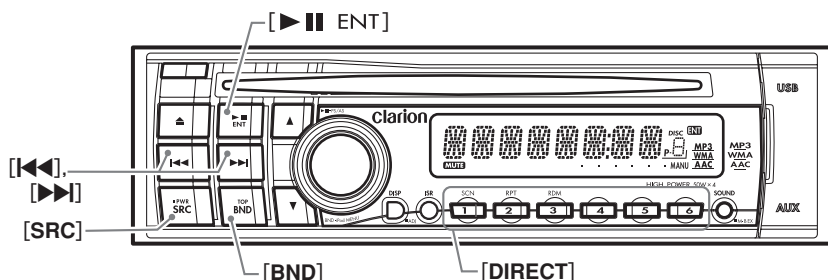
- 1 [SOUND]ボタンを押して、サウンド設定モードにする
- 2 [◀◀], [▶▶]サーチボタンを押して、(HPF)を選ぶ
- 3 [▲], [▼]ボタンを押して、設定内容を選ぶ

"THROUGH" ↔ "120"

※初期設定は、「THROUGH」です。

※ハイパスフィルターはスピーカー出力にのみ機能し、RCA音声出力には機能しません。

ラジオを聴く



ラジオを選ぶ

- 1 [SRC]ボタンを押してラジオモードを選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

ラジオ→CD/MP3/WMA/AAC→USB/MTP/iPad...・AUX

自動選局する(シーク選局)

- 1 「MANU」が点灯しているときは、[BND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

- 2 [<<], [>>]サーチボタンを押す

→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

受信バンドを切り換える

- 1 [BND]ボタンを押す

→押すたびに、バンドが切り換わります。

F1→F2→A1→A2

手動選局する(マニュアル選局)

- 1 「MANU」が消灯しているときは、[BND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

- 2 [<<], [>>]サーチボタンを押して、放送のあるところに合わせる

→手動選局には、ステップ選局とクイック選局があります。

- ステップ選局のときは、 [<<], [>>]サーチボタンを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、 [<<], [>>]サーチボタンを押し続ける(約1秒間)と、周波数が連続して切り換わります。

プリセット選局する

プリセット選局について…

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

- 1 **[DIRECT]**(1～6)ボタンを押して、聴きたい放送局を選ぶ

→ディスプレイに受信周波数とプリセット No.を表示します。

ご注意

- **[DIRECT]**ボタンを押し続ける(約2秒間)とプリセットメモリーとなり、受信中の放送局がメモリーされてしまいます。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

- 1 **[BND]**ボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ

- 2 **[◀◀], [▶▶]**サーチボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

- 3 メモリーさせたい**[DIRECT]**(1～6)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→押した**[DIRECT]**(1～6)ボタンに登録されます。

自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について…

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

- 1 **[BND]**ボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ

- 自動メモリーは、受信バンド別に登録しますので、それぞれ登録してください。(FM時はFM2、AM時はAM2へ登録されます。)

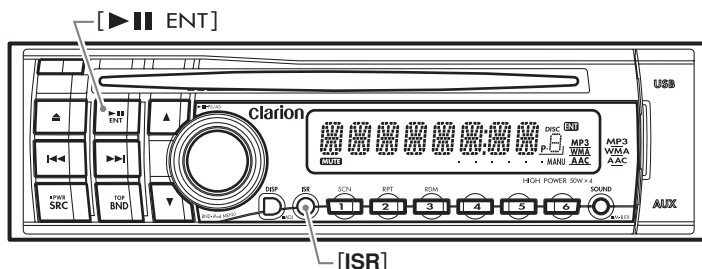
- 2 **[▶]■ENT]**プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

自動的に、受信感度の良い放送局が**[DIRECT]**(1～6)ボタンに登録されていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。



放送を確かめる (プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

1 ▶||ENT]プレイ/ポーズボタンを押す

→プリセットスキャン動作中のプリセット No.を表示します。

- メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

- [▶||ENT]プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)と、オートストア機能になります。ご注意ください。

■プリセットスキャンを解除するには…

もう一度、[▶||ENT]プレイ/ポーズボタンを押してください。

→ボタンを押したときに受信していた放送局になります。

特定の放送局をすぐに選局する (ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能について…

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。

※初期設定では、AM1620kHzの交通情報がメモリーされています。

1 [ISR]ボタンを押す

→ディスプレイに「ISR 1620」を表示します。

■元のモードに戻すには…

もう一度、[ISR]ボタンまたは[SRC]ボタンを押してください。

■ISRにメモリーするには…

ラジオモードで、メモリーしたい放送局を選局し、[ISR]ボタンを押し続けて(約2秒間)ください。

→ISRにメモリーされます。

CD/MP3/WMA/AACを聴く

MP3/WMA/AACについて

●MP3とは

MPEG規格のオーディオ・レイヤー3(MPEG audio layer3)に分類される音声圧縮方式で、パソコンユーザーの間で同方式は標準フォーマットとして浸透しています。

オリジナルの音声データを約1/10のデータ量にまで圧縮でき、さらに高音質なのが特長です。1枚のCD-R/RWディスクに、CD約10枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

●WMAとは

- ・「Windows Media Audio」の略で、マイクロソフトが開発したオーディオファイルのことです。
- ・Windows Media™、およびWindows®ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標および登録商標です。

●AACとは

- ・「Advanced Audio Coding」の略で、映像圧縮規格(MPEG-2、MPEG-4)で使われる音声圧縮方式です。

●DRM(著作権保護)の解除方法について

WMAのDRM(著作権保護)がONのままのファイルを再生した場合は、音声が出力されません。以下の方法で解除してファイルを作成してください。

- ・Windows Media Player 10/11ご利用時は、「ツール」「オプション」「音楽の取り込み」のタブで、「取り込みの設定」の中の「取り込んだ音楽を保護する」のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。

※作成したWMAファイルにおいては、個人の責任において実施してください。

●ファイル作成時のご注意

再生可能なサンプリングレート、ビットレートについては「仕様」(54ページ)をご覧ください。

ファイル拡張子

- ・ファイル拡張子には、必ず半角文字で拡張子「.MP3」「.WMA」「.mp3」「.wma」を付けてください。それ以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合には、再生できません。

論理フォーマット(ファイルシステム)

- ・MP3/WMA/AACファイルをCD-R/RWに記録する場合、ライティングソフトのフォーマット設定は「ISO9660(レベル1,2)」、Joliet、Romeo、Apple ISOを選択してください。他のフォーマットで記録した場合には正常に再生しない場合があります。
- ・同一フォルダ内に、同じファイル名を付けないでください。

TAG表示について

- ・MP3/WMA/AAC再生ではフォルダ名、ファイル名、TAGをタイトルとして表示することができます。表示できる文字は半角英数/記号で、それ以外の文字を入力した名称は、正しく表示しない場合があります。
- ・TAGのないMP3/WMA/AACファイルは「**NO TITLE**」が表示されます。
- ・MP3の場合は、ID3-TAG V2.4/2.3/2.2/1.1/1.0に対応しています。TAG表示は、V2.4/2.3/2.2を優先します。
- ・WMAの場合、アルバムTAGは、拡張ヘッダーに書き込まれた情報を表示します。

フォルダ階層

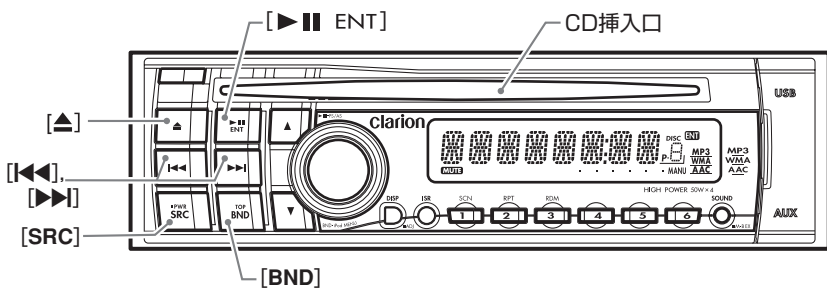
- ・フォルダが8階層を超えたディスクについては、再生できません。

フォルダ数/ファイル数

- ・MP3/WMA/AAC(ディスク)
 - フォルダ数：最大255フォルダ(1フォルダあたり最大255ファイル。但し、255ファイルの場合、2フォルダまで)
 - ファイル数：最大510ファイル
- ・USB機器
 - フォルダ数：最大512フォルダ(1フォルダあたり最大255ファイル)
 - ファイル数：最大130,560ファイル

■ディスクの再生について

- ・ディスクを挿入すると、タイトル表示部に「**FILEREAD**」を表示して、ディスク内のすべてのフォルダをチェックしたのち、再生がはじまります。チェックをしている間は音が出ません。読み込めないフォルダなど、作成したディスクによっては、チェックする時間がかかる場合があります。
- ・WMAのDRM(著作権保護)がONのままのファイルを再生した場合は、音声が出力されません。「**WMA**」インジケーターが点滅します。
- ・MP3/WMA/AACデータ以外のファイルは再生できません。再生時間表示部に「――：――」と点滅表示します。
- ・曲の再生はディスクに記録した順番に行われます(パソコン上で表示される順番通りに再生されるとは限りません)。
- ・記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。
- ・読み込めないファイルは、そのファイルは飛ばして、次ファイルを再生します。
- ・画像データなど、音声以外のデータを含むAACファイルを再生する場合、再生がはじまるまでに時間がかかる場合があります。



すでに入っているディスクを聴く

1 [SRC]ボタンを押して、CD/MP3モードを選ぶ

→CD/MP3モードになると、自動的に再生がはじまります。
ディスクが入っていないときは、タイトル表示部に「NO DISC」と表示します。

ラジオ→CD/MP3/WMA/AAC→USB/MTP/iPod・・・AUX

最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について…

再生しているディスクの最初の曲から再生をはじめます。

1 [BND]ボタンを押す

→最初の曲(トラックNo.1)から再生されます。

- MP3/WMA/AACの場合は、再生中のフォルダの1曲目に戻ります。

再生を止める(一時停止)

1 [▶||ENT]プレイ/ポーズボタンを押す

→タイトル表示部に「PAUSE」を表示します。

■続けて再生を聴きたいときには…

もう一度、[▶||ENT]プレイ/ポーズボタンを押してください。

曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、[▶▶]サーチボタンを押す

前の曲を聴くときは、[◀◀]サーチボタンを2回押す

→[▶▶]ボタンを押すと、次の曲が再生されます。また押した回数だけ先の曲が再生されます。

[◀◀]ボタンを押すと、再生中の曲を最初から再生します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が再生されます。

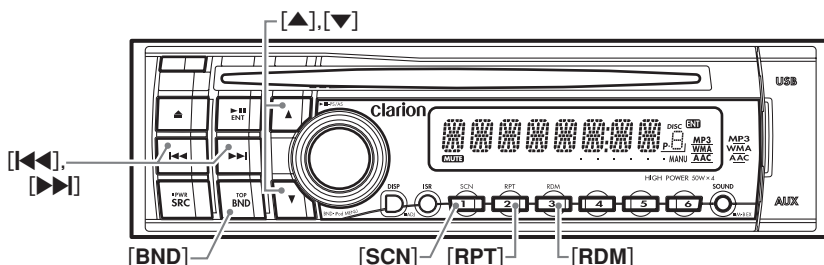
- 曲の頭部分を再生しているときに [◀◀] ボタンを2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、[▶▶]サーチボタンを押し続ける

早戻しするときは、[◀◀]サーチボタンを押し続ける

- MP3/WMA/AACディスクの場合は、サーチ開始および曲間で多少時間がかかります。また、再生時間表示に誤差が生じる場合があります。



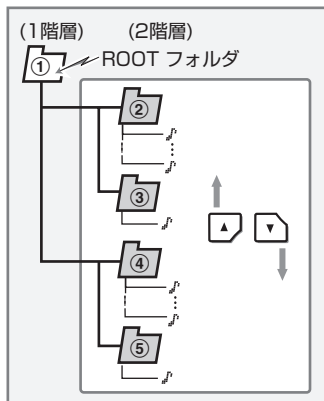
フォルダを切り換える (フォルダ選択モード)

フォルダ選択モードについて…

MP3/WMA/AACディスク再生時にフォルダを選択して、そのフォルダ内の最初の曲から再生します。

1 [▲],[▼]ボタンを押す

→ [▲]を押したときは前のフォルダに、[▼]を押したときは次のフォルダに移ります。



■曲を選ぶには…

[◀◀], [▶▶]サーチボタンを押してください。

再生するファイルタイプを選択する (マルチセッション機能)

マルチセッション機能について…

音楽CD (CD-DA) の曲とMP3/WMA/AACファイルの曲が混在しているディスクのときに、どちらの曲を再生するかを選択できます。

※初期設定は、「**M-SESS CD**」です。

- 音楽CDあるいはMP3/WMA/AACのどちらか1つだけ記録されたディスクの場合には、どちらに設定しても再生できます。

1 [BND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ 押し続けるたびにCDまたはMP3/WMA/AACに切り換わります。

- 音楽CD選択時の表示：
M-SESS CD
- MP3/WMA/AAC選択時の表示：
M-SESS MP3

2 設定した後は、一度ディスクを取り出して再挿入してください。

- CD/MP3/WMA/AACの混在したディスクを再生した場合に「**M-SESS CD**」に設定すると、MP3/WMA/AACファイルの曲は、音が出ません。[◀◀], [▶▶]サーチボタンを押して次の曲を選曲してください。

ご注意

- コピーコントロールCDを再生するときは、「CD」を選択してください。「MP3/WMA/AAC」を選択すると再生できない場合があります。

いろいろな再生 (スキャン/リピート/ランダム演奏)

ご注意

- スキャン/リピート/ランダム演奏は電源をOFFにした場合でも保持されます。

■聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

音楽CDまたはMP3/WMA/AACディスク1フォルダ内に収録されている全曲を10秒間ずつ再生します。

1 [SCN]ボタンを押す

→タイトル表示部に「**SCAN**」を2秒間表示して、スキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、再生している曲の次の曲からはじまります。

■聴きたいフォルダを探す (オールスキャン演奏)

MP3/WMA/AACディスク全フォルダ内の最初の曲を約10秒間ずつ再生します。

1 [SCN]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に「**ALL SCAN**」を2秒間表示して、オールスキャン演奏をします。

■曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

再生中の1曲を繰り返し再生します。

1 [RPT]ボタンを押す

→タイトル表示部に「**REPEAT**」を2秒間表示して、リピート演奏をします。

■フォルダ内の曲を繰り返し聴く (オールリピート演奏)

再生中のMP3/WMA/AACフォルダ内の曲を繰り返し再生します。

1 [RPT]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に「**ALL RPT**」を2秒間表示して、オールリピート演奏をします。

■曲をランダムに聴く(ランダム演奏)

音楽CDまたはMP3/WMA/AACディスク1フォルダ内に収録されている曲を順不同に再生します。

1 [RDM]ボタンを押す

→タイトル表示部に「**RANDOM**」を2秒間表示して、ランダム演奏をします。

■全フォルダの曲をランダムに聴く (オールランダム演奏)

MP3/WMA/AACディスク全フォルダ内の曲を順不同に再生します。

1 [RDM]ボタンを押し続ける(約1秒間)

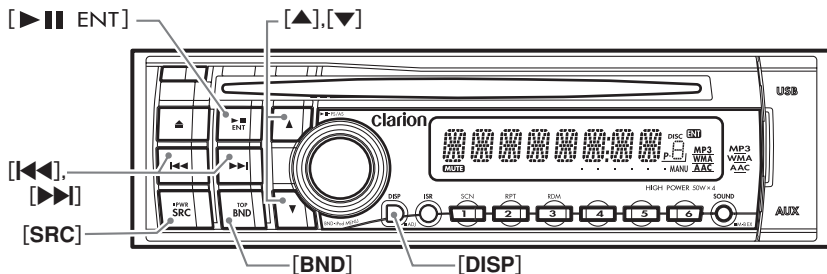
→タイトル表示部に「**ALL RDM**」を2秒間表示して、オールランダム演奏をします。

■通常の演奏に戻すには…

1 もう一度、同じボタンを押してください。

→タイトル表示部に演奏オフ状態を2秒間表示して、演奏している曲から通常の演奏になります。

タイトルをつける



タイトルを入力する

タイトル入力について…

ラジオやTVの放送局やCDに8文字までのタイトルをつけ、受信時やCD再生時に表示させることができます。(ラジオ、TV、CD、CDチェンジャー時)入力できるタイトル数は、次の通りです。

- ラジオ : 30タイトル
- TV : 20タイトル
- CD : 50タイトル
- CDチェンジャー
 - DCZ625 : 100タイトル
 - DCZ665 : 100タイトル

1 [DISP]ボタンを押し続ける(約1秒間)

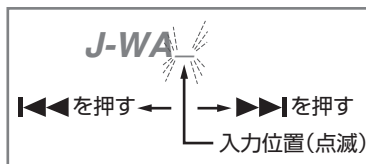
2 [◀◀], [▶▶]サーチボタンを押して、(TITLE IN)を選ぶ

3 ディスプレイ部の「ENT」が点滅のときは、[▶||ENT]プレイ/ポーズボタンを押す

→タイトル入力モードになります。

※次の手順4～6を繰り返して、タイトルを入力します。

4 [◀◀], [▶▶]サーチボタンを押して、入力位置を決める



→点滅している入力位置が左右に移動します。

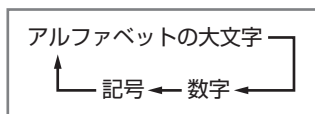
• 入力できる文字数は、8文字です。

ご注意

- ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと、本機にメモリーされていたタイトルなどのユーザーメモリーはすべて消去されますのでご注意ください。

5 [BND]ボタンを押して、文字の種類を選ぶ

→ボタンを押すと、次のように文字の種類が切り換わります。



6 [▲] [▼]ボタンを押して、入力文字を決める

- 7** 入力を終わったら、[▶||ENT]プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)
→タイトル表示部に「MEMORY」を表示し、タイトルがメモリーされます。

■タイトル表示を時計などの表示に切り換えるには…

[DISP]ボタンを押してください。

■タイトルメモリーがいっぱいになると…

- ラジオ局タイトルの場合
プリセットチャンネルとISRにメモリーされていないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。
- ディスクタイトルの場合
再生回数の少ないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。

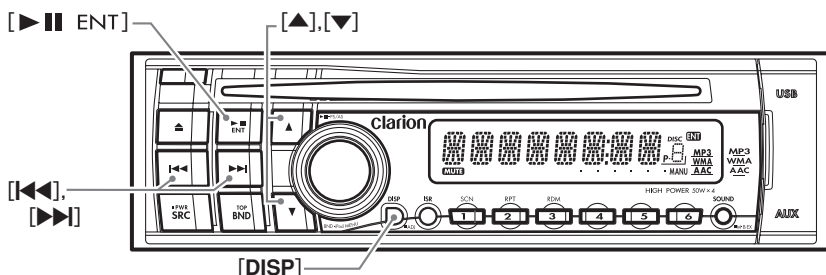
タイトルを削除する

- 1** [SRC]ボタンを押してソースを選ぶ(ラジオ、TV、CD/MP3/WMA/AAC)
- 2** 削除したいタイトルのラジオ/TV局を受信する、またはCDを再生する
- 3** [DISP]ボタンを押し続ける(約1秒間)
- 4** [◀◀], [▶▶]サーチボタンを押して、(TITLE IN)を選ぶ
- 5** ディスプレイ部の「ENT」が点滅のときは、[▶||ENT]プレイ/ポーズボタンを押す
→表示されているタイトルの1文字目が点滅して、タイトル入力表示になります。
- 6** [BND]ボタンを押し続ける(約1秒間)
→タイトルが消えます。
- 7** [▶||ENT]プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)
→タイトルが削除され、「NO TITLE」を表示します。

■タイトル表示を時計などの表示に切り換えるには…

[DISP]ボタンを押してください。

設定を変更する(アジャストモード)



設定項目の選びかた

1 [DISP]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に「**CLOCK**」などを表示して、アジャストモードになります。

2 [◀◀], [▶▶]サーチボタンを押して、設定する項目を選ぶ

→押すたびに、右図のように切り換わります。

- ディスプレー部の「**ENT**」が点滅のときは、[▶||ENT]プレイ/ポーズボタンを押して調整内容を表示します。
- (**AUX SENS**)は、**AUX**モードを選択しているときに表示されます。

■設定を終えたら…

[DISP]ボタンを押してください。



設定状況を確認する (SETTINGS)

1 『設定項目の選びかた』の手順で
「SETTINGS」を選ぶ

2 [▲], [▼]ボタンを押して、各設定を表示する

• 表示範例：マグナベース EX機能状態



スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)

ディスプレイに時計表示などを常に表示
させておきたい場合は、「OFF」に設定し
てください。

※初期設定は、「ON」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で
「SCRN SVR」を選ぶ

2 [▲], [▼]ボタンを押して設定する

• ON : スクリーンセーバー機能がON
になります。再生表示などの
状態で約30秒間何も操作しな
いと、スクリーンセーバー表
示となります。

• MESSAGE :
メッセージをスクロール表示
します。

• OFF : スクリーンセーバー機能が
OFFになります。

メッセージを入力する (MSG INP)

本機では英数文字を使用して30文字ま
で入力することができます。この機能で
入力したメッセージをスクリーンセー
バーとして設定することができます。

1 『設定項目の選びかた』の手順で
「MSG INP」を選ぶ

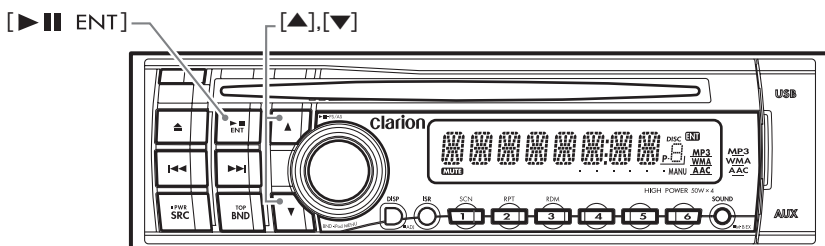
2 [▶IIENT]プレイ/ポーズボタンを押し
て、メッセージ入力にする

→「タイトル入力をする」(32ページ) の手
順3～5を繰り返して、メッセージを入
力します。

3 [▶IIENT]プレイ/ポーズボタンを押し
続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「MEMORY」を表示して
メモリーされます。

※入力の途中で、[▶IIENT]プレイ/ポーズ
ボタンを押したときは、メッセージ入力
モードをキャンセルして、元の状態に戻
ります。



タイトルスクロールを設定する(SCROLL)

MP3/WMA/AACのファイルに記録されたタイトル表示をスクロールすることができます。

※初期設定は、「ON」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「SCROLL」を選ぶ

2 [▲], [▼]ボタンを押して、設定する

- **ON** : 自動でスクロールをはじめ、スクロールを繰り返します。
- **OFF** : タイトル表示が切り換わると、1回のみスクロールします。

※再びタイトルをするスクロールさせたいときは、[DISP]ボタンを約3秒以上押し続けてください。

ディスプレイ照明を設定する(DIMMER)

車のイルミネーションに連動させて、照明を減光させることができます。

※初期設定は、「ON」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「DIMMER」を選ぶ

2 [▲], [▼]ボタンを押して、設定する

- **ON** : 車のイルミネーションに連動して、ディスプレイ照明を減光します。
- **OFF** : 連動しません。

内蔵アンプを設定する(A-CANCEL)

外部アンプ使用時に、内蔵アンプの出力を停止することができます。

※初期設定は、「OFF」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「A-CANCEL」を選ぶ

2 [▲], [▼]ボタンを押して、設定内容を選ぶ

- **ON** : 内蔵アンプをOFFします。
- **OFF** : 内蔵アンプをONします。

携帯電話のスピーカー出力を設定する(TEL-SP)

携帯電話の割り込み機能が「ON」に設定されているときに、電話音声は本機のスピーカーから出力されます。

※初期設定は、「LEFT」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「TEL-SP」を選ぶ

2 [▲], [▼]ボタンを押して、設定する

- RIGHT : 右側のスピーカーから出力
- LEFT : 左側のスピーカーから出力

ご注意

- AUX Bluetooth トランシーバー (BLT370)を接続して、以下の設定を「ON」にしているときに設定できます。

携帯電話音声の割り込みを設定する(TEL-SW)

携帯電話を別販の接続ユニットを介して接続すると、本機のスピーカーから携帯電話音声を聞くことができます。

※初期設定は、「OFF」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「TEL-SW」を選ぶ

2 [▲], [▼]ボタンを押して、設定する

- OFF : 割り込みしません。
- ON : 携帯電話音声は本機のスピーカーから再生されます。
また、音量は[VOLUME]ノブで調整することができます。
- MUTE : 本機から再生音は出ません。

ご注意

- AUX Bluetooth トランシーバー (BLT370)を接続するときは、この機能を「ON」に設定してください。

システムをチェックする(S-CHECK)

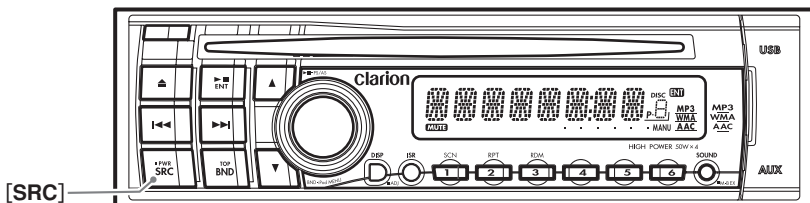
マニュアルでシステムをチェックします。

1 『設定の選びかた』の手順で「S-CHECK」を選ぶ

2 [▶] [II] [ENT] プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約1秒間)

→システムチェックが完了すると、元のモードに戻って再生をはじめます。

USB機器のオーディオファイルを聴く



<USB機器の操作について>

本機と接続可能なUSB機器については、クラリオンホームページwww.clarion.comをご覧ください。または、お客様相談室にお問い合わせください。(裏表紙参照)

次の操作はCD/MP3/WMA/AACと同様の操作です。

- 曲を選ぶ
- 早送り/早戻し(DRMファイルを除く)
- 一時停止
- トップ機能
- スキャン/リピート/ランダム演奏
- フォルダ選択

「CD/MP3/WMA/AACを聴く」(27～31ページ)をご覧ください。

USB機器について

- 本機で再生できるオーディオファイルは、MP3/WMA/AACファイルです。詳しくは「MP3/WMA/AACについて」(27ページ)をご覧ください。
- 本機のUSBスロットに接続をして再生できるUSB機器は、「USBマストレージクラス」として認識されることが条件となりますが、すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。

※「USBマストレージクラス」に準拠したデバイスは、特殊なドライバーやアプリケーションソフトを使用することなく接続するだけで使用できます。

- 使用するUSB機器が「USBマストレージクラス」に準拠しているかは、USB機器の販売メーカーにお問い合わせください。
- USB機器を本体に挿入すると突起物となり、運転中に何らかの危険を及ぼす場合があります。市販のUSB延長ケーブルを使用し、安全な接続方法でご使用ください。

- 記録されているデータを消失してしまったなどのために、貴重なデータは必ずパソコンなどにバックアップをとっておくことをお勧めします。
- 本機はパソコンとの接続には対応していません。また、USBハブを介して接続することもできません。
- 2つ以上のドライブで構成されているUSB機器は、どちらか一方のドライブのみを認識します。
- セキュリティ機能の付いたUSB機器は再生できません。
- 接続するUSB機器によっては曲順などが変わってしまう場合があります(パソコン上で表示される順番通りに再生されるとは限りません)。
- USB再生中、フォルダUP/DOWNを連続して操作すると、演奏時間表示が[00:00]のまま、音が出ません。

USBデジタルメディアストリーミングについて

- 本機はUSBデジタルメディアストリーミングに対応しています。USBデジタルメディアストリーミングとは、MTP(Media Transfer Protocol)と呼ばれるプロトコルで音楽ファイルを伝送し、本機での再生に対応した機能です。本機能を使用すると、DRMファイルの再生も可能となります。
- USBデジタルメディアストリーミング中、本機では「MTP」というモード表示となります。
- USBデジタルメディアストリーミングには、対応した携帯オーディオプレーヤーが必要です。

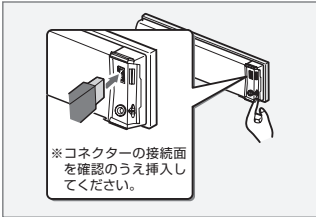
USB機器を接続する



警告

- USBスロットに異物を入れないでください。
- MTP対応したUSB機器の場合、エンジンをかける前に接続しないでください。USB機器がこわれることがあります。

1 USBスロットカバーを開ける



2 USBスロットにUSB機器を挿入する

→挿入すると、USB機器に保存された最初のファイルから再生をはじめます。

- USB機器を認識しない場合は、[SRC]ボタンを押してソースを切り換えてください。
- USB機器はコネクタの奥までしっかりと差し込んでください。差し込みが不完全ですと、USB機器を認識しない場合があります。
- USB機器の形状によっては本体に挿入できない場合があります。そのような場合には市販されているUSB延長ケーブルを使用して接続してください。
- 収録されている曲数によっては読み込みまでに時間がかかる場合があります。

ご注意

- USB機器の抜き差しは、USB機器にアクセスしていないときに行ってください。次のようなときに行くと、データが破損する場合があります。

…読み込み中にUSB機器を抜いたり、電源をOFFしたとき

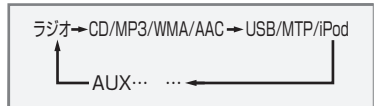
…静電気、電気ノイズの影響を受けたとき

- USB機器を車内に放置しないでください。直射日光や高温などの影響により、USB機器が変形したり故障する場合があります。

USB機器のオーディオファイルを聴く

1 [SRC]ボタンを押して、ソースを切り換える

→押すたびに次のように切り換わります。USB/MTPモードになると前回停止したところからはじまります。(DRMファイルを除く)



- USB機器が接続されているときにUSBモードを表示します。
- USB機器を取り外し、再度挿入したときは、USB機器に記録されたファイルの最初から再生をはじめます。
- MTPモード時、AACファイルは再生できません。

再生を終了するには

1 [SRC]ボタンを押して、USBモード以外のソースに切り換える

ご注意

- USBモード中にUSB機器を抜き取らないでください。USB機器のデータが破損する場合があります。
- 貴重なデータは必ずパソコンなどにバックアップデータを保存しておいてください。

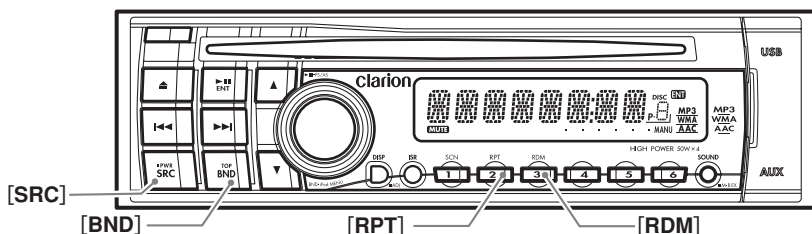
2 USBスロットからUSB機器を取り外す

3 USBスロットのカバーを閉じる

ご注意

- 再生終了後はUSBスロットのカバーを閉じて、ほこりなど侵入による接続端子の損傷を防止してください。

iPodを操作する



<iPodについて>

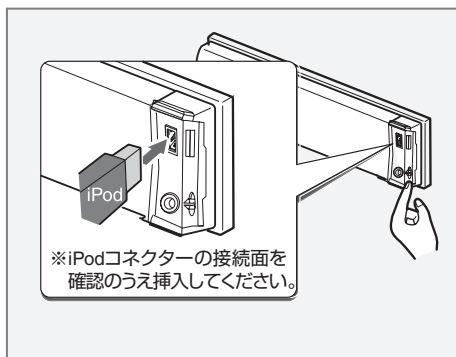
この章はiPodがUSBスロット経由で本機に接続したときの操作について説明しています。

- iPodに関する詳細な操作方は、iPodの「取扱説明書」を参照してください。
- 本機と接続可能なiPodに関しては、お近くのクラリオン販売店にお問い合わせいただくか、弊社Webサイトwww.clarion.comをご覧ください。

次の操作はCDと同様の操作です。

- 曲を選ぶ
- 早送り/早戻し
- 一時停止
- スキャン/リピート/ランダム演奏

「CD/MP3/WMA/AACを聴く」(27～31ページ)をご覧ください。



iPodを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

→iPodで再生していた最後のファイルから再生をはじめます。

いろいろな再生 (プレイモード時)

ご注意

- この機能はiPodメニューモードのときには動きません。
- iPodで、設定したランダム機能は、iPod着脱後もその機能を保持します。但し、リピート機能の場合は保持しません。

■曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

1 [RPT]ボタンを押す

→タイトル表示部に「REPEAT」を2秒間表示します。

iPodを接続する

1 iPodを接続する

→iPodで再生していた“シャッフル演奏”は次のように設定されます。

- シャッフル(アルバム)→ランダム演奏
- シャッフル(ソング)→オールランダム演奏

iPodは、再生機能の“プレイモード”と選曲機能の“iPodメニューモード”の2つがあります。この機能は[BND]ボタンで切り換えます。

ご注意

- iPodを本機と接続する場合、iPodに同梱されているケーブルをご使用ください。

■アルバムをランダムに聴く(ランダム演奏)

この演奏はiPodの“シャッフル(アルバム)”演奏と同じです。

1 [RDM]ボタンを押す

→タイトル表示部に「**RANDOM**」を2秒間表示します。

■曲をランダムに聴く(オールランダム演奏)

この演奏はiPodの“シャッフル(ソング)”演奏と同じです。

1 [RDM]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に「**ALL RDM**」を2秒間表示します。

■通常の演奏に戻すには…

1 もう一度、同じボタンを押してください。

→タイトル表示部に演奏オフ状態を2秒間表示して、演奏している曲から通常の演奏になります。

ご注意

- 選択されたカテゴリ内で全曲再生後、リピートモードをキャンセルした場合は、その選択されたカテゴリ内の最初の曲から再生をはじめます。
- ランダム演奏、またはオールランダム演奏時にイグニッションスイッチを切り、すぐに入れ直した場合、今まで再生していた曲以外の曲から再生がはじまります。

iPodメニューからカテゴリを選ぶ

1 [BND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→iPodメニューのカテゴリが表示されます。

ご注意

- iPodメニューモードのときは、リピートおよびランダムの操作はできません。
- iPodメニューモードのときは、[◀◀]、[▶▶]、[▲]、[▼]ボタンを早押しした場合、再生されないことがあります。

2 [▲]、[▼]ボタンを押して、カテゴリ表示を切り換える

→iPod メニューのカテゴリは、次のように切り換わります。

PLAYLIST ↔ ARTIST ↔
ALBUM ↔ SONG ↔
GENRE ↔ COMPOSER ↔
PLAYLIST...

ご注意

- [BND]ボタンを押すと、iPodメニューモードはキャンセルされます。

3 [▶▶]サーチボタンを押して、カテゴリを選ぶ

4 曲名表示のときに、[▶▶]サーチボタンを押して曲を選ぶ

→カテゴリの最初の曲から再生をはじめ、iPodメニューモードを解除します。

- カテゴリによってはサブフォルダが表示される場合があります。そのときは、[▲]、[▼]ボタンを押してサブフォルダを切り換え、[▶▶]サーチボタンを押して曲を選択してください。
- 曲名表示のときに[◀◀]サーチボタンを押すと、現在再生中のフォルダ名表示に戻ります。

5 [▲]、[▼]ボタンを押して、カテゴリ内の曲を選ぶ

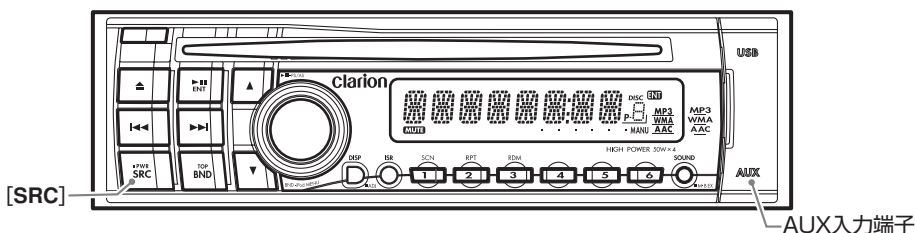
6 [▶▶]サーチボタンを押して、選んだ曲を再生します

タイトル表示について

本機はiPodから送られてくるタイトル情報の表示が可能です。

- 文字コードはUTF-8、表示できる文字は英数字および一部の記号です。
- 表示できない文字のときは、“*” (アスタリスク) で置き換えます。
- 本機は漢字表示に対応しておりません。

ポータブルオーディオ/携帯電話音声を聴く(AUX)



AUXを選ぶ

本機に市販のポータブルオーディオなどを接続して、音楽ソースを聴くことができます。また、AUX Bluetooth®トランシーバー(BLT370)を接続すると携帯電話の通話音声を聴くことができます。

1 [SRC]ボタンを押してAUXモードを選ぶ

→接続されたポータブルオーディオのプレイ操作で、再生されます。

ラジオ→CD/MP3/WMA/AAC→USB/MTP/iPod…AUX

■音が割れる/音が小さいときには…

本機の入力レベルを調整してください。詳しくは、「ポータブルオーディオの入力レベルを設定する(AUX SENS)」(43ページ)をご覧ください。

■AUX Bluetooth®トランシーバー(BLT370)を接続したときは…

この機能を使用するときは、「設定を変更する(アジャストモード)」(34ページ)で次の設定項目を変更してください。

- 「携帯電話音声の割り込みを設定する(TEL-SW)」を「ON」にします。

※初期設定は、「OFF」です。

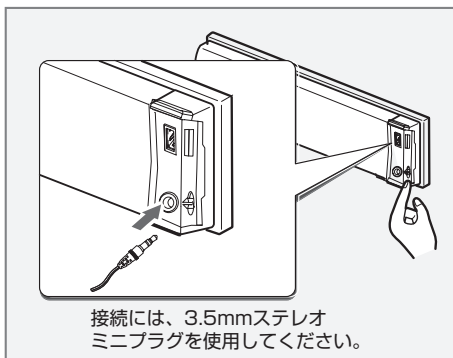
- 「携帯電話のスピーカー出力を設定する(TEL-SP)」で運転席と反対側のス

AUX入力の接続のしかた

市販のステレオミニプラグコードを使用して、ポータブルオーディオを本機正面パネルの[AUX入力端子]へ接続してください。

ご注意

- プラグを接続している状態で、プラグに無理な力を加えないでください。また、ポータブルオーディオを使用しないときには、プラグを抜いてください。



ポータブルオーディオの入力レベルを設定する(AUX SENS)

本機に接続された市販のポータブルオーディオの入力レベルを設定します。

※初期設定は、「MID」です。

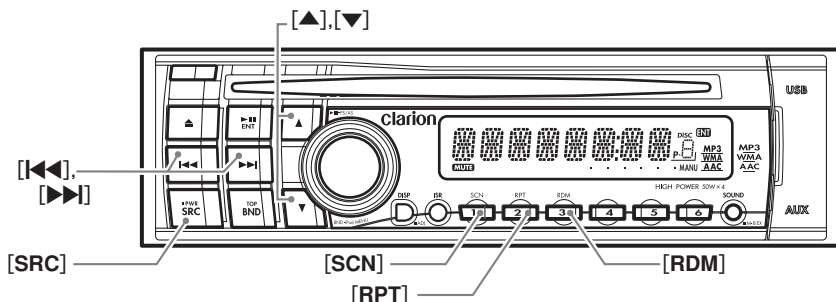
- 1 [DISP]ボタンを押し続ける(約1秒間)
- 2 [◀◀], [▶▶]サーチボタンを押して、「AUX SENS」を選ぶ
- 3 [▲]、[▼]ボタンを押して設定する

- **LOW** : 入力レベルが高く音割れなどが発生しているとき
- **MID** : 通常レベルのとき
- **HIGH** : 入力レベルが低いとき

ご注意

- この機能は、AUXモードを選択しているときに設定できます。

CDチェンジャーを操作する



<チェンジャーの操作について>

次の操作はCDと同様の操作です。

- ・ 曲を選ぶ
- ・ 早送り/早戻し
- ・ 一時停止
- ・ スキャン/リピート/ランダム演奏

「CD/MP3/WMA/AACを聴く」(27～31ページ)をご覧ください。

- ・ タイトル表示については、「表示を切り換える」(20ページ)をご覧ください。

■CDチェンジャーについて…

別販のCeNET結線対応のCDチェンジャーを接続すると、本機でCDチェンジャーをコントロールすることができます。CeNET結線対応のCDチェンジャーを2台まで接続できます。

チェンジャーを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

→チェンジャーに切り換わると、自動的に再生がはじまります。

■2 台のCDチェンジャーを接続したときは…

[SRC]ボタンを押してください。

- ・ CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「NO MAG」と表示されます。また、マガジン内にCDが入っていないときには、「NO DISC」と表示されます。

聴きたいディスクを選ぶ

1 [▲],[▼]ボタンを押す

→ディスプレイのディスクNo. が点滅して、再生をはじめます。

- ・ CDマガジンにディスクが入っていない場合には、その番号は飛ばします。

いろいろな再生(ディスクスキャン/ディスクリピート/ディスクランダム演奏)

■聴きたいディスクを探す (ディスクスキャン演奏)

チェンジャー内の全ディスクの最初の曲を約10秒間ずつ再生します。

1 [SCN]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に「ALL SCAN」を2秒間表示します。

- ディスクスキャン演奏は、再生しているディスクの次のディスクからはじまります。

■1枚のディスクを繰り返し聴く (ディスクリピート演奏)

再生中のディスクを繰り返し再生します。

1 [RPT]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に「ALL RPT」を2秒間表示します。

■全ディスクの再生をランダムに聴く (ディスクランダム演奏)

チェンジャー内のディスクの曲を順不同に再生します。

1 [RDM]ボタンを押し続ける(約1秒間)

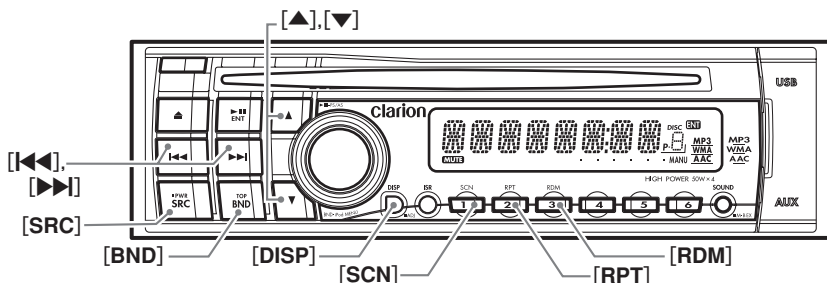
→タイトル表示部に「ALL RDM」を2秒間表示します。

■通常の再生に戻すには…

1 もう一度、同じボタンを押してください。

→タイトル表示部に演奏オフ状態を2秒間表示して、演奏している曲から通常の演奏になります。

MDデッキでグループ編集MDを聴く



<MDデッキの操作について>

次の操作はCDと同様の操作です。

- ・ 曲を選ぶ
- ・ 早送り/早戻し
- ・ 一時停止
- ・ スキャン/リピート/ランダム演奏

「CD/MP3/WMA/AACを聴く」(27～31ページ)をご覧ください。

MDデッキを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

→押すたびに、ソースが切り換わります。

グループ機能をON/OFFする

本機はグループ機能で編集されたMD再生時に、グループ機能を利用してスキャン/ランダム/リピート演奏などを行うことができます。

グループ機能のON/OFFは、グループ編集MDのときのみ行えます。

※初期設定は、「OFF」です。

1 [SRC]ボタンを押して、MDデッキにする

2 [BND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→[BND]ボタンを押し続けるたびに、ON/OFFが切り換わります。

グループ編集MDを再生する

グループ機能が設定されている場合には、ディスク情報の読み込み後、再生をはじめます。

■グループ機能「ON」のとき

グループ順に再生します。グループ化されていない曲(トラック)は最後にまとめて再生します。

●グループの最初の曲を聴くには…

[BND]ボタンを押す

→再生中のグループの最初の曲から再生します。

●グループ内で曲を選ぶには…

[◀◀], [▶▶]サーチボタンを押してください。

●タイトル表示を切り換えるには…

[DISP]ボタンを押してください。

→押すたびに、ディスクタイトル→グループタイトル→トラックタイトルと切り換わります。グループ編集MDでない場合は、「NO GROUP」と表示します。

■グループ機能「OFF」のとき

通常のMDと同様に、最初の曲から再生します。

グループを切り換える

- 1** 次のグループを聴くときは、[▲]ボタンを押す
前のグループを聴くときは、[▼]ボタンを押す

いろいろな再生(グループスキャン/グループリピート/グループランダム演奏)

■聴きたいグループを探す (グループスキャン演奏)

グループの最初の曲を10秒間ずつ再生します。

- 1** [SCN]ボタンを押し続ける(約1秒間)
→タイトル表示部に「**ALL SCAN**」を2秒間表示します。
- グループ化されていない曲は、1つのグループとしてまとめて扱われ、すべてのグループの先頭曲が再生された後に、その一番最初の曲がスキャン演奏されます。
 - [SCN]ボタンを押したときは、通常のスキャン演奏になります。

■1つのグループを繰り返し聴く (グループリピート演奏)

再生中のグループ内の曲を繰り返し再生します。

- 1** [RPT]ボタンを押し続ける(約1秒間)
→タイトル表示部に「**ALL RPT**」を2秒間表示します。
- [RPT]ボタンを押したときは、通常のリピート演奏になります。

■全グループの再生をランダムに聴く (グループランダム演奏)

MDLPに収録されているすべての曲を順不同に再生します。

- 1** [RDM]ボタンを押し続ける(約1秒間)
→タイトル表示部に「**ALL RDM**」を2秒間表示します。

●再生中のグループ内の曲をランダム演奏をするには…

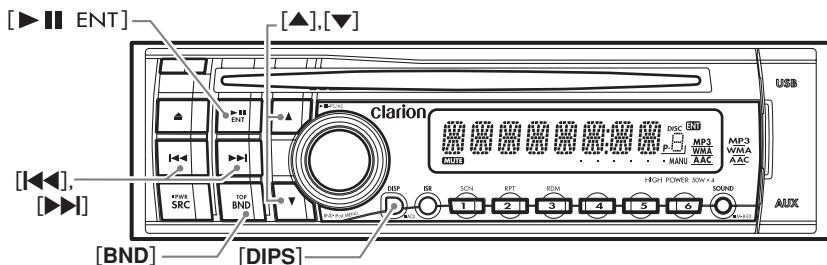
[RDM]ボタンを押してください。

- グループ機能がOFFのときは、通常のランダム演奏となります。

■通常の演奏に戻すには…

- 1** もう一度、同じボタンを押してください。
→タイトル表示部に演奏オフ状態を2秒間表示して、演奏している曲から通常の演奏になります。

テレビを見る



<TVの操作について>

次の操作はラジオと同様の操作です。

- ・自動選局/手動選局/プリセット選局
- ・プリセットメモリー/自動メモリー(オートストア)
- ・プリセットスキャン

「ラジオを聴く」(24～26ページをご覧ください)。

■TVチューナーコントロール機能について…

別販のCeNET結線対応のアナログTVチューナーを接続すると、本機でアナログTVチューナーをコントロールできます。TVを見るためには、アナログTVチューナーとモニターが必要です。



警告

- ・運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車してください。

ご注意

- ・ご使用になる前に、次の項目を確認して設定を変更してください。
TVダイバーシティーアンテナを使用しないときは、「TVダイバーシティーを設定する(DIVER)」(49ページ)で、設定を「OFF」にしてください。

TVを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

→押すたびに、ソースが切り換わります。

受信バンドを切り換える

1 [BND] ボタンを押して(T V 1)または(TV2)を選ぶ

→押すたびに、バンドが切り換わります。
(TV1 ↔ TV2)

■プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、TV1、TV2各6局、合計で12局です。

TVモードとVTRモードの切 換(TV/VTR)

この機能は、TVチューナーにビデオ機器が接続されているときに操作できません。

- 1 [DISP]ボタンを押し続ける(約1秒間)
- 2 [◀◀], [▶▶]サーチボタンを押して、
「TV/VTR」を選ぶ
- 3 [▶ IIENT]プレイ/ポーズ ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に「VTR」を表示し、TVからVTRに切り換わります。TV画面がビデオ入力状態となり、ビデオを見ることができます。

■TVモードに戻すには

- 1 [DISP]ボタンを押し続ける(約1秒間)
- 2 [◀◀], [▶▶]サーチボタンを押して、
「TV/VTR」を選ぶ
- 3 [▶ IIENT]プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に「TV」を表示し、VTRからTVに切り換わります。

TV受信時のステレオ/モノラル音声の設定(ST/MONO)

TV 放送受信時のステレオ/モノラル音声を設定します。

※初期設定は、「ST」です。

- 1 [DISP]ボタンを押し続ける(約1秒間)
- 2 [◀◀], [▶▶]サーチボタンを押して、
「ST/MONO」を選ぶ

- 3 [▲], [▼]ボタンを押して、設定内容を選ぶ

- ST : ステレオ受信時にステレオ音声にします
- MONO : ステレオ受信時にモノラル音声にします

TVダイバーシティーを設定する(DIVER)

TV 放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。

※初期設定は、「ON」です。

- 1 [DISP]ボタンを押し続ける(約1秒間)
- 2 [◀◀], [▶▶]サーチボタンを押して、
「DIVER」を選ぶ

- 3 [▲], [▼]ボタンを押して、設定内容を選ぶ

- ON : TVダイバーシティー機能をONします
- OFF : TVダイバーシティー機能をOFFします

TV受信時の主音声/副音声を設定する(MAIN/SUB)

TV 放送受信時の主音声/副音声を設定します。

※初期設定は、「MAIN」です。

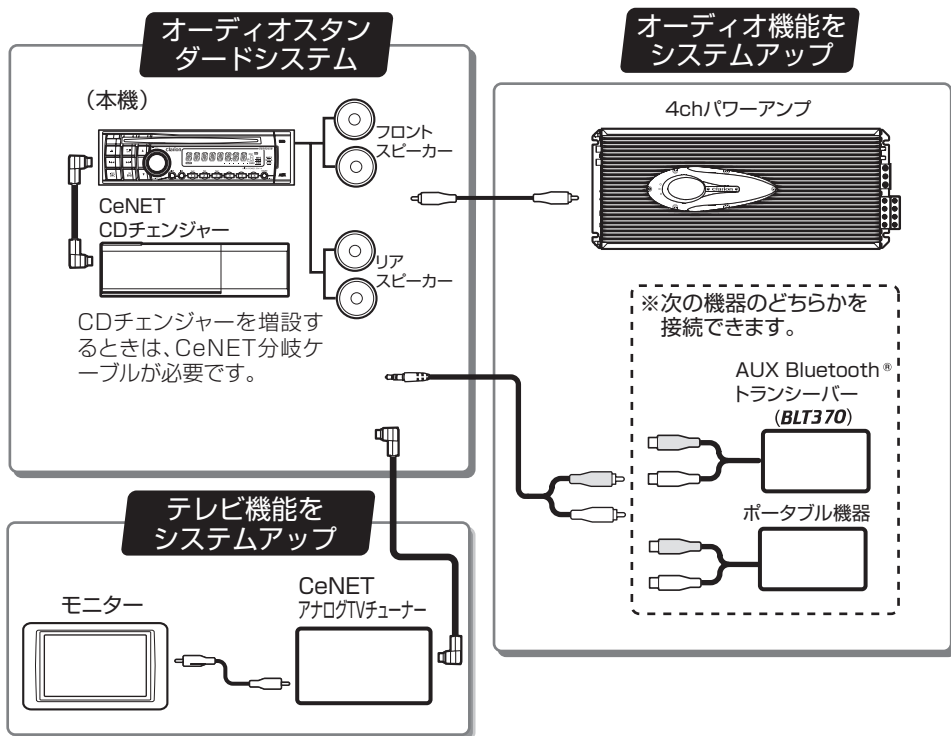
- 1 [DISP]ボタンを押し続ける(約1秒間)
- 2 [◀◀], [▶▶]サーチボタンを押して、
「MAIN/SUB」を選ぶ
- 3 [▲], [▼]ボタンを押して、設定内容を選ぶ

- MAIN : 主音声を再生します
- SUB : 副音声を再生します

システムアップについて

本機は **CeNET** マークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。

以下のシステムアップ例は本機に接続できる機器の概要を示しています。接続可能モデルおよびそれに必要なCeNETケーブルなどの詳細につきましては、販売店あるいは弊社お客様相談室にお問い合わせください。また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取扱説明書をご覧ください。



 : CeNETケーブル

 : RCAピンコード

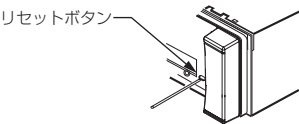
CeNETケーブルについて

CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下 (CeNET分岐ケーブルCCA-519含む) です。接続の際は、配線長が20mを超えないように、注意してください。

- チェンジャー同梱のケーブル長 …5m
- 延長ケーブル (CCA-520) …2.5m
- 分岐ケーブル (CCA-519) …1m
- 延長ケーブル (CCA-521) …0.6m

故障かな？と思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

	現 象	原 因	処 置
共通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプなど接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプなどについて、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押ししてください。  リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリーなどがすべて消えますので、もう一度設定し直してください。
ラジオ	音が出なくなった	スピーカー保護回路が動作している	音量をもう少し絞ってお聴きください。 電源を再投入することで、音声出力は復帰します。スピーカー保護回路が動作した場合は自動的にボリュームが絞られます。再度、短時間で音が出なくなる場合は最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。

その他

故障かな？と思ったら

	現 象	原 因	処 置
C D / M P 3 / W M A / A A C	音が出ない	ディスクを裏表逆に入れている	ディスクの印刷面を上にして入れてください。
		ディスクにMP3/WMA/AACファイルがない	ディスクにMP3/WMA/AACファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3/WMA/AACファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMA/AACファイルをご使用ください。
		ファイル形式または、ファイル名が正しくない	ISO9660レベル1、2、Joliet、Romeo、Apple ISOでファイルを作成してください。
	音飛ぶする ノイズなどが入る	ディスクが汚れている	ディスクをやわらかい布でふいてください。
		MP3/WMA/AACファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMA/AACファイルをご使用ください。
		録音時のサンプリング周波数が低い	サンプリング周波数の設定を上げて録音し直してください。
		ディスクに大きい傷やソリがある	ディスクを無傷なものに交換してください。
その 他	電源を入れた直後 音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
	ファイル名が違う	ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、Joliet、Romeo、Apple ISOでファイルを作成してください。
	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次の「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。
U S B / M T P / i P o d	音が出ない	デバイスにMP3/WMA/AACファイルがない	デバイスにMP3/WMA/AACファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3/WMA/AACファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMA/AACファイルをご使用ください。
	音飛ぶする ノイズなどが入る	MP3/WMA/AACファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMA/AACファイルをご使用ください。
	USB機器が 認識されない	USB機器が破損している	USBコネクタを抜き差ししてください。 それでも認識しない場合には、新しいUSB機器と交換してください。
		USBコネクタの接続が悪い	
		動作状況により、本機とUSB機器やiPod、携帯オーディオが認識されない場合がございます。	
	USB機器が 挿入できない	USBコネクタの挿入方向が間違っている	USBコネクタの向きを変えて挿入してください。
		USB機器のコネクタが破損している	新しいUSB機器と交換してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。

障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原因	対処方法
CD /MP3 /WMA /AAC	ERROR2	本機にディスクが引っかかって、イジェクトされないとき	本機のメカニズムの故障と思われます。お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、再生できないとき	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	ディスクを裏返しに入れ、再生できないとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れたとき	録音されているディスクと交換してください。
USB /MTP /iPod	ERROR2	ファイルがMP3/WMA/AACファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMA/AACファイルをご使用してください。
	ERROR3 (USB/MTPモード)	MP3/WMA/AACファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMA/AACファイルをご使用してください。
	ERROR3 (iPodモード)	iPodにISOファイルがないとき	ISOファイルが保存されたiPodと交換してください。
	CUR ERR	過電流検出	USB機器を取り外して、もう一度接続してください。USB機器がまだ認識されていないのであれば、別のUSB機器で試してみてください。
	HUB ERR	本機にHUB機器を接続したとき	本機は、HUB機器のご使用はできません。

上記以外のエラーが表示されたときは、51ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

■CDプレーヤー部

周波数特性 : 10Hz~20kHz±1dB
SN比 : 85dB
ダイナミックレンジ : 80dB (1kHz)
高調波ひずみ率 : 0.03%

■FMチューナー部

受信周波数 : 76.0MHz~90.0MHz
実用感度 : 11dBf
50dBクワイティング感度 : 17dBf
SN比 : 60dB
周波数特性 : 30Hz~15kHz±3dB
分離度 : 35dB (1kHz)
高調波ひずみ率 : 0.3% (1kHz)

■AMチューナー部

受信周波数 : 522kHz~1,629kHz
実用感度 : 25dBμV
SN比 : 50dB

■MP3/WMA/AAC部

セクタ構造 :
CD-ROMモード1、モード2-フォーム1
(自動判別)
論理フォーマット :
ISO9660レベル1,2/Joliet/Romeo/
Apple ISO
フォルダ構造 : 8階層
フォルダ数 : 最大255フォルダ (1フォルダあたり最大255ファイル)
ファイル数 : 最大510ファイル
ファイル名 : 64byte
(1byte文字で64文字)
フォルダ名 : 最大64byte
(1byte文字で64文字)

(MP3)

MP3デコード :
MPEG-1、オーディオレイヤー3準拠
サンプリングレート (kHz) :
MPEG-1 : 32, 44.1, 48
MPEG-2 : 16, 22.05, 24
MPEG-2.5 : 8, 11.025, 12
ビットレート (kbps/VBR) :
MPEG-1 : 32~320
MPEG-2 : 8~160
MPEG-2.5 : 8~160

(WMA)

サンプリングレート (kHz) : 22.05, 32, 44.1, 48
ビットレート (kbps/VBR) : 32~192

(AAC)

サンプリングレート (kHz) : 8~48
ビットレート (kbps/VBR) : 8~320

■USB部

最大転送レート12MbpsでUSB1.1/2.0互換
フォルダ構造 : 8階層
フォルダ数 : 最大512フォルダ (1フォルダあたり最大255ファイル)
ファイル数 : 最大130,560ファイル
ファイル名 : 64byte
(1byte文字で64文字)
フォルダ名 : 最大64byte
(1byte文字で64文字)

(MP3)

MP3デコード :
MPEG-1、2、2.5 オーディオレイヤー3準拠
サンプリングレート (kHz) :
MPEG-1 : 32, 44.1, 48
MPEG-2 : 16, 22.05, 24
MPEG-2.5 : 8, 11.025, 12
ビットレート (kbps/VBR) :
MPEG-1 : 32~320
MPEG-2 : 8~160
MPEG-2.5 : 8~160

(WMA)

サンプリングレート (kHz) : 22.05, 32, 44.1, 48
ビットレート (kbps/VBR) : 32~192

(AAC)

サンプリングレート (kHz) : 8~48
ビットレート (kbps/VBR) : 8~320

■AUX部

入力感度
LOW : 2.06V (2V出力時)
MID : 1.3V (2V出力時)
HIGH : 650mV (2V出力時)

■オーディオ部

定格出力 : 20W×4 (20Hz~20kHz, 1%, 4Ω)
最大出力 : 50W×4
適合インピーダンス : 4Ω (4Ω~8Ω)
2バンドEQ
BASS : ±14dB (100Hz)
TREBLE : ±14dB (10kHz)
マグナベースEX :
+10dB (80Hz)
ラインアウト出力レベル : 1.8V (CD 1kHz)

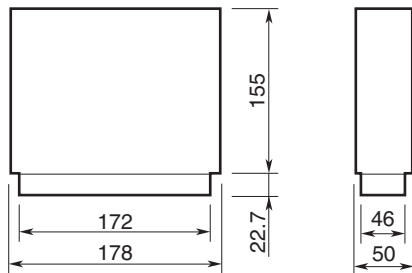
■Z-エンハンサープラス

Z-エンハンサー (5モード) :
CUSTOM/EXCITE/IMPACT/B-BOOST/Z OFF

■共通部

電源電圧 : DC14.4V
 接地方式 : マイナス接地
 消費電流 : 3.0A(1W時)
 ヒューズ定格 : 15A/3A
 外形寸法 :
 178(W)×50(H)×177.7(D)mm
 [取付寸法 : 155(D)mm]
 質量 : 1.16kg

●本体部



■付属品

• 取扱説明書 1部
 • 取付説明書 1部
 • 修理相談窓口リスト 1部
 • 保証書 1部
 • 電源コード 1本
 • セムス六角ボルト 5本
 • サラネジ(M5×8) 4本

* これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

WMDRM10について

- この製品はマイクロソフトの一定の知的財産権により保護されています。この製品外での当該技術の使用または配布はマイクロソフトの許諾がなければ禁止されます。
- コンテンツオーナーは著作権を含む自らの知的財産権を守るためにウィンドウズメディアデジタル権管理技術(WMDRM)を使用しています。このデバイスはWMDRMによって保護されたコンテンツにアクセスするためにWMDRMソフトウェアを使用しています。WMDRMソフトウェアがコンテンツの保護に失敗した場合、コンテンツオーナーは保護されたコンテンツを再生またはコピーするためにWMDRMを使用するソフトウェアの能力を取り消すようマイクロソフトに依頼することがあります。この取り消しは保護されていないコンテンツには影響しません。あなたが保護されたコンテンツ用にライセンスをダウンロードするとき、あなたはマイクロソフトがライセンスとともに取り消しリストを含めることができることに同意します。コンテンツオーナーはそのライセンスにアクセスするためのWMDRMをアップグレードするようあなたに求めることがあります。あなたがアップグレードを差し控えた場合、あなたはアップグレードを必要とするコンテンツにアクセスすることはできません。

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が別途添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証書の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。

お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年間保有しています。

■ご質問・ご相談について

本機に関するご質問・ご相談は、最寄りの弊社修理相談窓口または弊社お客様相談室にお問い合わせください。所在地と電話番号は、本機に付属の修理相談窓口リストをご覧ください。

クラリオン株式会社

本社事務所

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7-2

Clarion ホームページ <http://www.clarion.com>

お問い合わせはお客様相談室へ

フリーダイヤル：0120-112-140

(9:00～12:00・13:00～17:30/土・日・祝祭日を除く)

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

*お客様へ… ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。